

## 放課後等デイサービス評価表(保護者アンケート)集計

令和7年11月 実施

放課後等デイサービス マザーグース 7 評価表					
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか。	12	0	0	
2	バリアフリー化の配慮が適切であるか。	11	1	0	
3	子どもと保護者のニーズや課題が個別支援計画に作成されているか。	12	0	0	
4	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか。	12	0	0	
5	子どもの状況を保護者と伝え合い、発達の状況や課題について共通理解ができているか。	12	0	0	
6	保護者に対して、面談や育児に関する助言等の支援が行われているか。	12	0	0	
7	子供や保護者からの苦情について、迅速かつ適切に対応し、丁寧な説明がなされているか。	12	0	0	
8	個人情報に十分注意しているか。	12	0	0	
9	非常災害時に備え、定期的に避難訓練が行われているか。	10	2	0	
10	子どもは通所を楽しみにしているか。	12	0	0	
11	事業所の支援に満足しているか。	12	0	0	
12	長期休暇の行事内容や行事費について適切であるか。	5 適切 (安い)	7 普通	0 不適切 (高い)	
<p><b>ご意見や施設へのご要望</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも親切にご丁寧な対応をありがとうございます</li> <li>・楽しみに通所しています。いろいろな体験もできて、それを嬉しそうに話してくれています。引き続きよろしくお願いします。</li> <li>・土曜日の開所待っています。</li> </ul>					

配布数 12名 回収12名

## 放課後等デイサービス評価表(保護者アンケート)に対する回答

令和7年11月

### 1 について

- ・定員は各日10名で、常時6名～10名程利用していただいています。発達支援室は3室で、基準は満たしており、各部屋を子どもの特性やその日の状況・状態に合わせ使い分けています。現在は、メインルーム・個別支援室・学習室として利用しています。

### 2 について

- ・玄関前に数センチの段差がありますが、バリアフリー化に配慮しています。

### 3 について

- ・ニーズが現段階の子どもの成長段階に合っているか検討し、ニーズに対し課題がある場合はそれを達成するための課題を支援計画に生かすようにしています。

### 4について

- ・学校からの宿題や事業所の課題後、子どもの特性に配慮しながら個別活動や集団活動を組み合わせ、固定化しないようプログラムを作成しています。

### 5 について

- ・連絡帳にて状況を報告するようにしています。送迎時には、連絡帳以外の細かな部分を伝えるように心掛けています。**(連絡帳確認後は、確認印もしくはサインをお願いします)**

### 6 について

- ・6か月ごとに面談を設定し、個別支援計画にあげた目標や課題に対しての報告、子どもの近況の聞き取り、新しい目標や課題への変更などを行っています。また、ご家庭と子どもの特性に対する共通理解を深めながら、心配事や困り事に関しては一緒に考えたり、助言を行ったりしています。

### 7について

- ・子どもや保護者の苦情に対しては、苦情受付担当者が迅速に対応し、解決責任者とともに丁寧な説明を行いながら円滑な解決に努めています。

### 9 について

- ・年2回、大規模災害、水害、火災の避難訓練を行っています。地域の避難場所に実際に向かうことでその場に慣れておくことができるようにしています。14時頃から開始するため低学年児童中心の訓練となっています。

### 10について

- ・子どもたちが楽しく通所できるよう、取り組みやすい課題、遊び、季節行事などを設定するとともに、安心できる場所作りに努めています。

### \* その他

- ・臨時休校や短縮授業、下校時間変更などについては、事前にご連絡いただければ対応させていただきます。

放課後等デイサービス評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	✓		3部屋ある発達支援室を、特性や活動内容により分けている
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	✓		適切ではあるが、個別支援の充実を図るにはもう少し人数が必要
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	✓		室内段差なし。玄関に2cm以下の段差あり（車椅子利用可）
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	✓		支援終了後には毎日清掃を行っている
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	✓		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	✓		毎日の振り返りや職員会議、ケース会議棟を行っている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	✓		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	✓		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	✓		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	✓		コンプライアンス研修、虐待防止・身体拘束研修、食中毒・感染症に関する研修等を年に数回行っている。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	✓		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	✓		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	✓		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	✓		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	✓		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	✓		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	✓		それぞれの意見を出し合いチームで行っている

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	✓		ケース会議等で検討している
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	✓		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	✓		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	✓		帰り送迎遅延により振り返りができない場合は、翌日に行う緊急の対応が必要な場合は当日に行う。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	✓		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	✓		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	✓		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	✓		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	✓		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	✓		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	✓		県教育委員会緊急連絡システムに登録し情報共有を図っている
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	✓		必要に応じて各園や事業所との情報交換を行っている
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	✓		情報提供をするには至っていない。今後行う予定。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	✓		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		✓	今後交流する機会を設けたい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	✓		板野、鳴門の子ども自立支援部会に参加している
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	✓		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	✓		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	✓		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	✓		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	✓		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	✓		個別に、家庭での困りごとへの対応法を伝え支援を行っている
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		✓	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	✓		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	✓		活動報告を行う“マザーグース7便り”を定期的に発行している
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	✓		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	✓		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		✓	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	✓		各マニュアルを策定しプリントを配布している
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	✓		火災訓練を年2回、水害訓練を年1回実施している
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	✓		かかりつけ医からの服薬説明やてんかん発作対応法を保護者と一緒に確認している（服薬説明書や指示書のコピーを保管）
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		✓	職員に周知し対応している
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	✓		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	✓		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	✓		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	✓		職員の虐待防止意識向上に向けて、研修を年に数回実施している
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	✓		本人、他者等に生命の危険がみられる時、緊急やむを得ない場合において、手や身体を押さえるなど、行動を制限させていただくことがあることを、保護者に説明し個別支援計画に記載している